

小松電機が 救援金700万円

スマトラ沖地震など

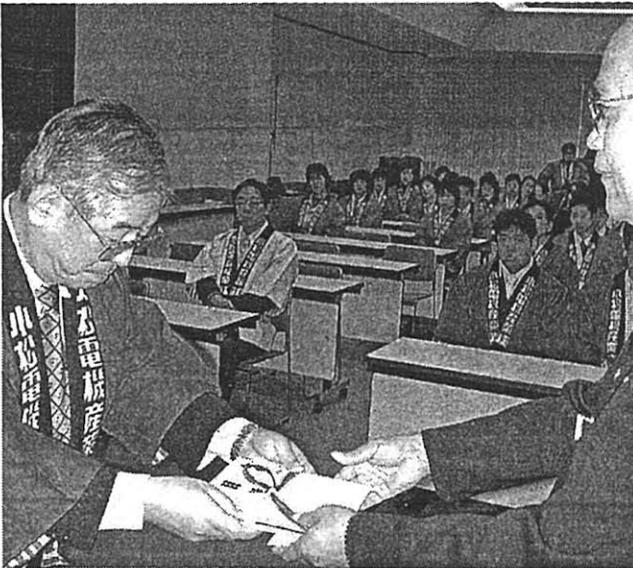
ベンチャーの小松電機産業(松江市乃木福富町、小松昭夫社長)と人間自然科学(HNS)研究所(同所、理事長・小松社長)は五日、スマトラ沖地震救援金五百万円と、北朝鮮救援金二百万円を日本赤十字社島根県支部に贈った。

同社の新年祝賀式で、小松社長が同県支部の山下嘉三事務局長に目録を

手渡し寄託した。

小松社長は社員らを前に「松江市民に匹敵する数の人々の命が一瞬にして失われた。98%のエネルギーと六十数%の食糧を海外へ依存する日本にとって人ごとではない。『社業を通じて社会に幸せの輪を広げよう』との社是を胸に支援を決めた」などと趣旨を説明した。

また、「山陰は平和地域としてアジアの中で確固たる地位を築くべきだ」とし、今回の寄付も



小松電機産業の新年祝賀式で、スマトラ沖地震救援金を寄託する小松昭夫社長(左)と松江市乃木福富町